



# 東風

〇月〇日

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子  
〇じょうぶな子

【重点目標】

認め合い 支え合い 高め合う 東小の子

令和4年2月28日発行 第13号

## 新たな学校のスタンダード

岩内東小学校長 齊藤 信之

先日は悪天候のために急きょ臨時休校の措置を取り、大変ご迷惑をおかけしました。コロナによる学校・学級閉鎖のために、ただでさえも授業時数の確保が難しい状況の中で、まさに「泣きつ面に蜂」とはこのことです。

新規感染者の数が徐々に減少傾向にある一方で、「ステルスオミクロン」と呼ばれる変異株への置き変わりが懸念されるなど、依然として予断を許さない状況に変わりありません。学校で何かしらの措置を取るたびに「タブレットを受け取りに来てください」と、お願いすることも申し訳なく、他の学習用具と同じく毎日持ち帰っては、翌日また学校へ持って来るということを続けることといたしました。子どもたちの荷物を増やしてしまうことは心苦しいのですが、ご理解をお願いいたします。また、次の日に学校で使用することを考えて、ご家庭で充電しておくことにも、あわせてご協力をお願いいたします。

現在、学校では、臨時休業時ややむを得ず登校できない児童に対する学習支援の他、オンラインを活用した子ども同士の意見交流や情報の共有、総合的な学習の時間におけるスライドの作成や共有等、ICTを活用した学習が着実に広がりを見せています。子どもたちの学びが、より充実したものとなり個々の可能性をさらに引き出すことができるよう、今後もより有効な活用の仕方を探り、質の高い学びへとつなげていきたいと思っております。

この時期にいつも聞こえてくるはずの「6年生へ贈る言葉」が、今年は何の教室からも聞こえてきません。昨年、1学年ずつ6年生に向き合う方式へとリニューアルを図った「6年生を送る会」を今年は中止としたためです。学級・学校閉鎖を繰り返した今年度は、準備のための時間を確保することが難しく、苦渋の決断をいたしました。学級・学年での発表は叶いませんが、この一年間、学校のリーダーとして先頭に立ってくれた6年生への感謝の気持ちを「メッセージカード」で伝えることとしました。先日、5年生がタブレットを使ってカードを作っている場面を見せてもらいました。カードの台紙から一人一人のオリジナルで、自分で撮影した顔写真を取り込み、対面感も醸し出されていました。ICTの活用により、これまでの一斉・一律の教育が大きく変わり、子どもたちが主体的・能動的に取り組み、それぞれの個性を發揮しながら自分で自分の学びを創っていくという新しい教育への挑戦が、既に行われていることを実感したところです。

現学年での時間が残り少ないからこそ子どもたちに伝えたいことがあり、この時期だからこそ、子どもたちが実感的に理解できることがあります。より高く、遠くへ跳ぶために、すべての子が助走の力をため込む3月です。成長を実感し、次への意欲を膨らませる3月としたいと思います。